



## 本校での学びと これからへ期待を胸に いざ

3月13日(金)に、坂口市長、石本教育長職務代理、山田 PTA 会長、平野輪島高校長のご臨席を賜り、第12回卒業証書授与式が挙行されました。学校長から証書を受け取る卒業生の凛とした姿、感謝の気持ちとこれからの期待を精一杯表現した答辞と別れの歌は、いつまでも私たちの記憶に残ることでしょう。式は、卒業生が3年間の中学校生活での学びで培ったものが土台となり、卒業するさみしさ、新生活への緊張・期待・興奮、成長の喜び、節目の慶び、先輩への憧れ、惜別の思いなど様々な感情が混ざり合い、参加者一人一人の心に響くものとなりました。坂口 茂 輪島市長から「いい卒業式でした」とのお言葉をいただきました。

## 福光 明 学校長式辞

卒業おめでとうございます。

中学校3年間の義務教育を無事に終了し、めでたく卒業の日を迎えることができたのは、一人一人が3年間、たゆまぬ努力を積み上げてきた結果であることは言うまでもありません。その努力に対して、心から拍手を送ります。皆さんの中学校生活3年間は、類を見ない経験を強いられました。コロナ感染症がようやく収まりはじめ、勉強や行事、部活動に頑張っていたときに起きた能登半島地震、さらに輪をかけるように襲ってきた豪雨災害、これらの大きな災害により、家族を失った悲しみや先の見えない不安など、絶望ともいえる状態でした。しかし、皆さんは気丈にふるまい、毎朝、笑顔で登校し、元気な姿を見せてくれました。

特に3年生になってからの1年間は、真剣に授業に向かい、部活動で持てる力を十分に発揮し、体育祭では大きな声で応援し、文化祭では工夫を凝らしたダンスや太鼓、演劇を披露してくれました。何に対しても全力で、一生懸命に取り組む皆さんは、輪島中学校の3年生としてとても素晴らしい存在でした。ありがとう。

そんな3年生が卒業してしまうのは残念ですが、卒業後もいろいろなことを体験し、挑戦していく皆さんに、言葉を紹介します。現在の一万円札のモデルになっている渋沢栄一さんの「不言実行と共に、また有言実行もおおいによろしい」という言葉です。「不言実行は、言葉に出さずに実行すること、有言実行は、言葉に表して実行することです。卒業生の皆さんはどちらのタイプですか？ この2つの熟語の詳しい意味を考えてみましょう。

「不言実行」とは、黙々と努力し、結果を出すこと。言葉に頼らず、着実な行動で自己成長を遂げ、目標を実現する手段です。目標を定め、計画を練り、地道な努力を積み重ねます。このような自分に対する誠実な姿勢と努力を通じて、信頼性や実力を向上させることができます。

「有言実行」とは、言葉で意志や目標をはっきりと表明し、その言葉を具体的な行動で裏付けることです。言葉だけでなく、実際の行動が共に進むことで、自らの信念を示し、他者との協力や共感を生み出し、信頼関係を築くことができます。行動が伴わないと信頼されなくなるため、言葉通りに行動することが必要になります。また、言葉に出すことで、まわりの人たちが応援してくれることもあります。

どちらも「よい」ということは、物事を行うときは、目標を見据えた不言実行と、他者との信頼関係を築くための有言実行をバランスよく行うのがよいということであり、そうすることで周囲からの信頼を得ることに繋がります。時には黙って、時には言葉に出して、自分の目標や夢を実現に向けて行動してください。卒業後の皆さんの活躍に期待します。

# 青山学院大学アスリートによるスポーツ体験会

3月16日(月)に奥能登地域の中学校で開催される「キッズスポーツチャレンジ(以下 KSC)」が、輪島中学校(2年生対象)でスタートしました。今回の KSC は世界大会優勝経験者を含む学生アスリートが参加し、ボクシング・少林寺拳法・バレーボール・ラクロス・フットサル・社交ダンスなど複数の競技を体験することができました。普段、できない競技にたくさんの生徒が集まり、楽しく体験できました。



## 小松 由佳さん講演会

### 「ヒマラヤからシリア、難民の土地へ ~登山家、写真家、母としての挑戦~」

3月17日(火)、登山家から転身し、フォトグラファー作家として活躍される小松由佳さんの講演会が2年生を対象に開催されました。波乱万丈の日々に果敢に挑まれている小松さんの生き方について学び、自身の生き方について考えを深める機会になりました。

#### 【講演会参加者メモ】

行く前から挑戦が始まっている  
チャンスがあった時につかむための準備をしておく

小さなステップを積んでいけば成功できるという感覚  
その時にしかできないことがある

私たちにできることは？

知ること、考え続けていくこと

わかりにくい問題、簡単に答えが出ない問題についても考え続けていくこと

平和についての再認識、議論が必要な時期

平和は維持する努力をしなければ、簡単に壊れるもの

山に登るために必要な要素

①自分の努力

②道具を使う力、状況を判断する力(経験)

③不測の事態を受け入れる力

山頂に登っても感動しません

下りが待っていて折り返し地点だから



そのときにしか、できないことがある

チャンスはいつでもつかめるようにしておく

自分のペースで歩く、自分のペースを見つける

壁だと思っても、どんな経験も価値あるものに変えていける

#### 生徒感想

今回の講演会を通して、人生は登山のように、一步一步を着実に積み重ねていけばきっと頂点(山の頂上)まで行くことができるということ、とても深く感じるすることができました。それにチャンスをもたせるにはチャンスは自分の手元に来るものではなく、自分がいつ来てもいいように掴めるようにしておくという考え方がとても重要なんだなと考えさせられました。

これからは難民たちのようにどんな辛いことがあっても、また地震で崩れてしまった家をみんなで協力し合って立て直したり、取り戻すことのできない幸福も新しい人生を送っていく第一歩として積み重ねたりしていくことを大事にしていきたいです。

# 令和8年度前期生徒会役員が決定

3月18日(水)に、来年度前期の生徒会役員を選出する立会演説並びに投票が行われました。執行委員の演説では、「楽しい」「明るい」「笑顔」などの言葉が多く用いられ、来年度前期生徒会執行部が目指すゴールの方向性が感じられました。また、その達成方法についても「意見を聞く」「アンケートを実施する」など具体的な方法も示されていました。各委員長演説からも「〇〇したい」「〇〇に興味を持ってもらいたい」という目的意識が伝わってきました。どちらも素敵な演説でした。

役員公約(約束)が果たされ、有言実行となるよう、みなさんが信任した役員をしっかり支えてあげてください。

私が生徒会長に立候補した理由は、誰でも楽しく明るく過ごせる学校を作っていきたいと思っているからです。そのために、みなさんと協力して、交流の場を設けたり、意見を聞いて話し合ったりして、よりよい学校にしたいと思っています。誰でも笑顔になれる、過ごしやすい学校を創っていきたくです。



- 生徒会長                      森岡 建合
- 執行委員                    川端 也大      坂本 柊也      二木 心菜      干場 結華      前田 航輝
- 生活委員長                中村 莉愛                      ○健康委員長                      蟹由実来乃
- 図書委員長                江岸 千紗                      ○美化委員長                      林 娃月
- 体育委員長                吉浦 暖々                      ○文化委員長                      田上 ひまり

## <表彰>

【教育長表彰 受賞者】					
3年1組	3年2組	2年1組	2年2組		
一本松 柚季	卯木 悠惺	岩坂 嘉子	町屋 瑠玖		
沖崎 知菜	沖崎 香菜	坂本 福介			
塚崎 航羽	新田 結	田方 優			
道下 彩菜	松下 乃暢	田上ひまり			
邑田 佳子	宮本 祐里	田中 道大			

※実用英語技能検定準2級以上の合格者、日本語漢字能力検定準2級以上の合格者に授与

## 退職・転任される先生方より

この度の異動で、下記7名の教職員が輪島中学校から異動・退職されます。先生方の今後のご活躍を応援しています。在任中は保護者の皆様、地域の皆様から多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

岸 要 教諭 (退職)	今年度限りで退職することになりました。まず、これまで支援していただいた保護者の方々、地域の方々をはじめ、関わっていただいた全ての方にお礼申し上げます。ありがとうございました。これからは地域の一員として輪島中学校の皆さんを応援していきたいと思えます。頑張ってください。
大森 大世 教諭 (能都中学校へ)	輪島中学校の皆さん7年間大変お世話になりました。この春の人事異動で能登町立能都中学校に異動となります。「偶然の出会いなどない。すべては必然である。」輪島中学校での皆さんとの出会いは自分の人生の大きな財産です。素晴らしい生徒たち、たくさんの先生方、保護者の皆さん、地域の方々との出会いがあったからこそ素晴らしい毎日を送ることができました。本当にありがとうございました。「私達は、

さまざまな場所でさまざまな人にさまざまな影響を与えている。人はみな、自分が思っているよりはるかに大きな影響を他人の人生に与えている。あなたも私もそうだ。(ジョンウッデン)「これからの人生をしっかりと生きぬいてください。自分の人生のキーワードは「バスケと祭り」です。またどこかで会いましょう。

吉田 朋平 教諭 (能都中学校へ)	いつかこんな日が来るとはわかっていたとはいえ、9年間ずっとこの学校で働ける当たり前が今日で当たり前で無くなってしまい、正直何と言ったらよいのかわからないのが今の気持ちです。輪中生の笑顔とエネルギーに支えられっぱなしでその姿を見ているだけで元気づけられた9年間でした。生徒の皆さんや保護者の皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。能都中学校では、輪島中学校で経験させてもらった沢山のことを胸に日々頑張っていきたいと思っています。そして今度は外から、輪島中学校を応援したいと思います。輪島中学校の皆さんも、どうか「自分自身と仲間への思いやり」を大切にこれからも頑張ってください。そして次は部活の大会で、良きライバル校同士として逢いましょう!本当にありがとうございました!!!
濱野 友寛 教諭 (能都中学校へ)	5年間お世話になりました。この5年間を振り返ると、たくさんの方々との出会い、成長させてもらったなと思います。毎日生徒の皆さんと関わる中でたくさん元気をもらっていました。また、これまで支えてくださった保護者の皆さんや、地域の方々のおかげで、今があると思っています。これからは、輪島からは離れますが、皆さんを応援しています。ありがとうございました。
亀岡 肇 教諭 (退職)	この度、退職することとなりました。教師生活40年、この間、家族、先生方、地域の皆様、そして何より子どもたちに支えられた年月だったと思います。今後はソフトテニスと畑仕事に精を出したいと思います。長きに渡り本当にありがとうございました!
待川 昭子 養護教諭 (退職)	輪島中学校では6年間勤務させていただきましたが、今年度退職することになりました。中学校3年間での子どもたちの心や身体の成長にはいつも驚かさされ感動してきました。これからはその感動には出会えませんが、遠くからまた見守りたいと思います。長い間お世話になり、本当にありがとうございました。
水越 千博 教諭 (穴水中学校へ)	1年間の短い時間でしたが、大変お世話になりました。文化祭等での皆さんのパワーが印象に残っています。そのパワーでより良い輪島中学校を創ってください。応援しています。

市職員の退職・転任のあいさつは次号に掲載します。

## <令和8年度 4月の行事予定>

1	水	学年始休業	11	土		21	火	
2	木		12	日		22	水	県基礎学力調査(理科・社会) 全国学力学習状況調査(英語読む書く等)
3	金		13	月	生徒会委員会① 部活動見学・体験(~17日)	23	木	全国学力・学習状況調査(国語・数学) 部活動発足式
4	土		14	火		24	金	
5	日		15	水		25	土	
6	月	2・3年登校日	16	木		26	日	
7	火	入学式10:00~10:45 1学期始業式・給食開始(23年生)	17	金		27	月	
8	水	給食開始(1年生)・5限日課 学力テスト(2・3年)	18	土		28	火	3年生修学旅行①
9	木	部活動紹介・5限日課・身体測定(1年) 学力テスト(1・2・3年)	19	日		29	水	昭和の日 3年生修学旅行②
10	金	身体測定(2・3年) 学力テスト(1年)	20	月		30	木	3年生修学旅行③ 1・2年校外学習